

(別記様式第1号) (第3の1関係)

地域発 元気づくり支援金事業計画書

番 号

平成 21年 2月 4日

上小地方事務所長 様

蚕都上田プロジェクト事務局長 前川道博 印

平成21年度において、地域発 元気づくり支援金事業を実施したいので、別紙のとおり事業計画書を提出します。

申請団体名 (代表者名)	蚕都上田プロジェクト (事務局長 前川道博)
所在地	〒386-1298 長野県上田市下之郷658-1 長野大学地域連携センター内
設立年月	平成20年7月5日
構成員数	団体会員数10、個人会員数30名、メーリングリスト参加数81名
主な取組内容及び今後の活動	<p>上田が蚕糸業で活況を呈し、まちづくりや上田自由大学などの文化活動が興り「蚕都」と呼ばれた時代に強い関心を持ち、私たちは、今も残る近代化産業遺産などの地域資源を活用して、誇りを持てる上田のまちづくりに資するため、2008年7月、市民やまちづくり団体、大学の研究者等から構成される「蚕都上田プロジェクト」を立ち上げた。</p> <p>以降、今日まで、定例会(情報交換、学習会)、上塩尻探訪(信州上田夏季大学)、蚕都上田まちあるき(上田市街地)開催の他、ウェブサイト「蚕都上田アーカイブ」構築、番組(ネット配信・ケーブル放送)制作などを行い、今後の方向を模索してきた。</p> <p>今後は、蚕都上田のまちづくりに関わる活動を一層推進していく計画である。そのため、上田市等関係機関とも連携のもと、地域振興に貢献していきたい。</p>
申請事業一覧	蚕都上田90周年記念事業『蚕都上田お宝発見』

※申請者が公共的団体等の場合のみ必要事項を記入すること。なお、団体概要や活動概要が分かる資料を添付することでも可。

※申請事業一覧は、別紙(別記様式第1号関係)の事業名を記載すること。

担当部署名	長野大学地域連携センター
電話番号	090-2270-5074
FAX番号	0268-39-0002
E-mail	maekawa@nagano.ac.jp
担当者名	前川道博

事業名	蚕都上田 90 周年記念事業『蚕都上田お宝発見』	
事業区分	(主となる区分)	(6) ア 特色ある観光地づくり
	(関連する区分)	(3) 教育、文化の振興に関する事業
中期総合計画区分	(主となる区分)	202 観光立県「長野」の再興
	(関連する区分)	403 生活を彩る文化芸術の振興
事業タイプ	ソフト / ハード / ソフト・ハード (該当項目に○印を記入)	
実施箇所	藤本蚕種歴史館(仮称)、笠原工業、上田市立博物館など上田市全域	
実施期間	事業開始予定年月日	平成 21 年 5 月 1 日
	事業終了予定年月日	平成 22 年 3 月 31 日
事業概要	<p>①事業目的</p> <ol style="list-style-type: none"> 2009 年は蚕都上田 90 周年に当たる。これを機にかつて「蚕都上田」として、蚕糸業で活況を呈した時代を顕彰し、「蚕都上田のまちづくり」を始動させる。 地域住民や次世代を担う子どもたちに対して「地域の誇り」を醸成させ、将来、蚕都遺産の常設展示館を設置することを目標に下記事業を実施する。 横浜開港 150 周年とも絡ませ、インターネットも活用することにより、蚕都上田の「お宝」を全国へ発信し、交流人口を増やす。 <p>②事業内容 (モデル的で発展性のある事業である理由)</p> <ol style="list-style-type: none"> 蚕都上田展 1 ヶ月間の開催予定 蚕糸業・蚕都上田・つるし飾り・三吉米熊コーナー等を設け、横浜開港資料館などからも史料を借用し、蚕都上田をアピールする展示会を県内外に広く呼びかけ実施する。上田市内の 6 会場で分散的に開催する。 近代化産業遺産めぐり 年 1 回開催予定 (笠原工業・上田蚕種・信大繊維学部講堂等) 経済産業省が近代化産業遺産を制定し、上田市内の近代化産業遺産は全部で 10 件認定されている。10 件とも全て蚕糸業に関わる遺産である。岡谷も須坂も近代化産業遺産を地域活性化の動き、さらには世界遺産登録へ向けた動きにしていこうと踏み出し始めているが、上田にはいまだ動きが皆無である。当該事業をきっかけとして、上田でも近代化産業遺産を地域の活性化の資源として捉えなおすために実際にその場所に行き、講師などのお話を聞く機会を設ける。 蚕都上田まちあるき 年 6 回開催予定 中心市街地はもとより、塩尻地区、丸子地区、真田地区などいくつかのゾーンとルートにある蚕都遺産を結び、面としての蚕都上田を PR する。 蚕都上田マップづくり 事業をマップに集成し市民等に広く配布する。 上記 1～3 で得た情報や蚕都上田のお宝やまちあるきルートをマップに集約し、「蚕都上田マップ」を制作する。ウェブサイトを通して広く周知する。広く市民や上田地域に住む住民、観光客に向けて蚕都上田をアピールする。 <p>③事業効果 (可能な限り数値化すること)</p> <ol style="list-style-type: none"> 上田市は「真田」というブランドだけでなく近代化産業遺産の「蚕都上田」があるという認知につながり、新たなブランドづくりのきっかけになる。 	

	<p>2. 蚕都上田まちあるきや近代化産業遺産めぐりで得た情報をビデオで記録し、インターネットに情報を出すことによって、世界に向けて情報を発信することができ、上田市へ観光に来たいと思うきっかけづくりになる。</p> <p>3. 蚕都上田展を実施することによって、市民が「蚕都上田」を再認識することができ、上田地域への観光の誘客にもつながる。</p> <p>4. 蚕都上田マップを上田市内全世帯や観光案内所等に設置し配布することで、実際にマップを見ながら散策する市民や観光客が増える可能性がある。また、マップを見ることで近代化産業遺産についてや蚕都上田について市民への理解を深めることができる。(上田市内全6万世帯、観光客等4万人)</p>			
事業費	3,729千円(うち支援金対象事業費 3,729千円)			
うち支援金要望額	3,729千円(内訳 ハード 千円 / ソフト 3,729千円)			
(内 訳)	◆実施内容別			
		実施内容	積算(説明)	事業費(うち支援金対象事業費)
		蚕都上田展	予算書参照	1,479千円(1,479千円)
		近代化産業遺産めぐり	予算書参照	190千円(190千円)
		蚕都上田まちあるき	予算書参照	360千円(360千円)
		蚕都上田マップづくり	予算書参照	1,700千円(1,700千円)
		計		3,729千円(3,729千円)
		◆財源内訳別		
	特 定 財 源	地方債		千円
		分担金・負担金・寄付金		千円
		事業収入		千円
		助成金	団体名()	千円
		小計		千円
	自己資金(うち支援金要望額)		千円(千円)	
	計		3,729千円(3,729千円)	
備考				

(添付書類)

- 1 事業計画図書(位置図、見取図、設計図、設計書等) 2 公共的団体等の規約(会則) 3 予算書
4 その他地方事務所長が必要と認める書類

※事業内容、事業費内訳等については別紙(様式任意)添付での対応も可

蚕都上田90周年記念事業

『蚕都上田お宝発見』 企画書

2009/02/04版



蚕都上田プロジェクト

蚕都上田90周年記念事業のねらい

今、世界中が不景気風に襲われています。上田市も同様です。その市民を元気づけたい、そういう思いから、かつて蚕都上田で大いに栄えたことを思い出して貰えるように、この事業を企画しました。2009年はちょうど上田町が上田市になってから90年を迎えます。それと同時に「蚕都」という呼称も使われました。そういう意味で、「蚕都上田」にとっても節目の年となっています。

また、蚕都上田の栄光がもたらしたお宝が数多く市民の家に秘蔵されていると思われます。しかし、その所在や意味・価値すら忘れられて、代替わりに廃棄焼却される危険性が多分にあります。「蚕都上田展」は、そのお宝を発掘するという意図もあります。さらに、子どもたちに蚕都上田の栄光を伝えたいという願いがあります。

なお、上田市立博物館も同様の企画展をする予定です。行政と市民とが同じタイトルで、分野を別にして取り組むことは、上田市民全体に波及する効果があると思われます。上田市にしてみれば、住民との協働事業という性格にもなります。

2009年は、横浜開港150周年にも当たります。横浜市では開港150周年記念事業が予定されています。蚕種製造で日本一を誇った上田の蚕種は開港以来横浜から欧州に輸出され、その後も信州産の生糸が大量に横浜から欧米へと輸出されました。信州・上田と横浜を結ぶルートはまさに「日本シルクロード」だったのです。日本の近代化は上田と横浜を基点として成就されたといっても過言ではありません。このように、上田と横浜が密接であった関係を活かして、横浜開港資料館からも史料を借用する予定です。さらに、今後上田市と横浜市が姉妹都市関係を結ぶきっかけになればと願っています。

『蚕都上田お宝発見』 事業概要

1 蚕都上田展

蚕糸業・蚕都上田・横浜開港等の展示、三吉米熊コーナー、上田紬、雛のつるし飾り、近代化遺産パース絵等の展示、市民お宝コーナー等を、藤本蚕種歴史館(仮称)、笠原工業常田館、上田市立博物館等の会場で分散的に実施する。本事業に合わせ、現在整備中の「藤本蚕種歴史館」(仮称)を開館し、「蚕都上田」の中核的な施設の一つとしての同館の活用を開始する。

開催期間(予定):2009年10月3日(土)~11月3日(火)

2 近代化産業遺産めぐり

通商産業省が認定した上田市内の近代化産業遺産群(笠原工業繭倉・倉庫、常田館、上田蚕種事務棟、信大繊維学部講堂、カネタの煙突、絹糸紡績資料館、上田市立丸子郷土博物館、大屋駅)、上塩尻地区の蚕種遺産群、蚕都上田展会場を巡回見学する。

3 蚕都上田まちあるき

蚕都遺産を結ぶまちあるきルートを設定し、まちあるきイベントを実施する。その様子をさらにビデオに収録しネット・CATVに配信する。

4 蚕都上田マップづくり

本事業を集大成し、上田市民はもとより広く地域住民に「蚕都上田」を知ってもらい、体験してもらうために「蚕都上田マップ」をつくり、上田市の全家庭および県内外の観光客等に配布する。ウェブサイトを通して広く周知する。

蚕都上田の蚕糸業遺産群

- **近代化産業遺産群** (通商産業省認定)

- 信州大学繊維学部講堂
- 上田蚕種(株)事務棟
- 笠原工業(株)繭倉
- 笠原工業(株)倉庫
- 常田館
- 同 所蔵物
 - 生糸製造設備、各種試験器、蚕種印紙 等
- カネタの煙突
- 絹糸紡績資料館
- 上田市立丸子郷土博物館所蔵品
 - 依田社式繰糸鍋 等
- しのの鉄道(株) 大屋駅

- **その他の遺産群**

- 塩尻地区の蚕種製造農家群
- 上田市立博物館所蔵品
- 信州大学繊維学部所蔵品
- 上田東高校(旧小県蚕業学校)所蔵品
- その他

蚕都上田プロジェクトと上田市の 役割分担

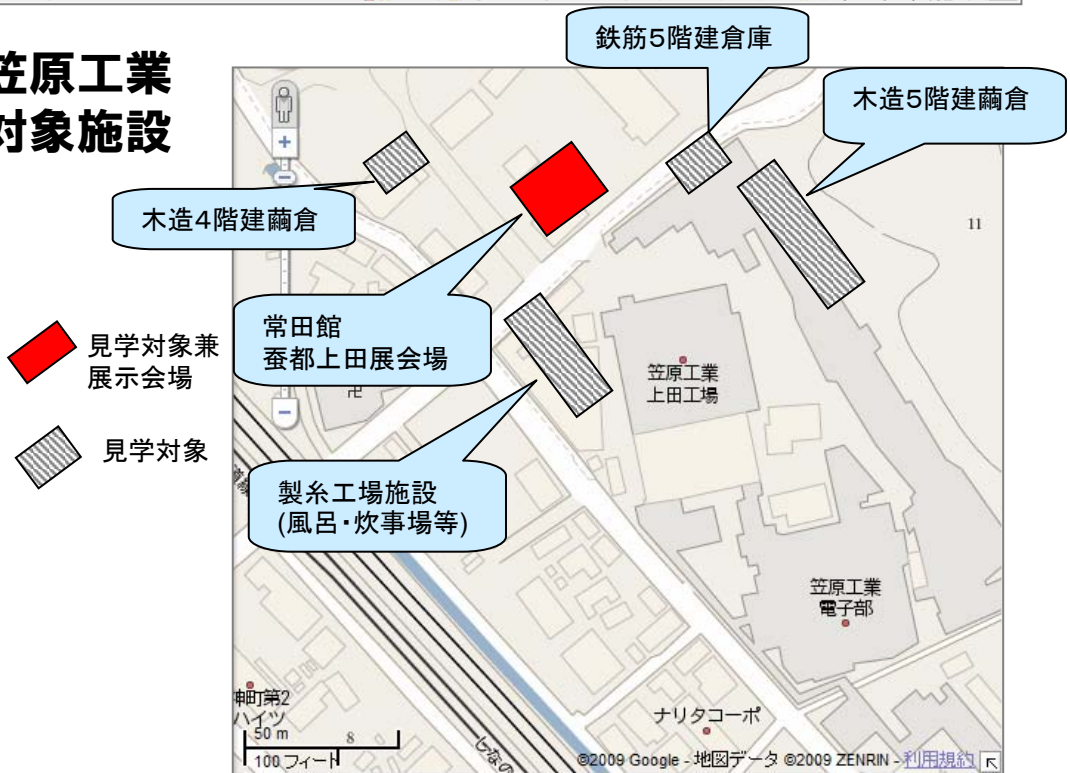
事業	蚕都上田プロジェクトの 役割分担 (★:実務担当予定者)	上田市の役割分担 (★:主管課、☆は予定)	元気づくり支援金の 主な用途
蚕都上田展 (第1会場、上田 市立博物館)	★新津新生 展示企画 カタログ作成	★上田市立博物館 ・事業経費負担 ・会場提供・会場運営 ・「蚕都上田展」広報 ・分散会場巡回バス確保 (土曜日4回) ・貴重品の展示	(なし)
蚕都上田展 (第2会場、上田 市立丸子郷土博 物館)	★阿部勇 展示企画 カタログ作成	★丸子地域教育事務所 社会教育課 ・事業経費負担 ・会場提供・会場運営 ・丸子地域での広報 ・貴重品の展示	(なし)
近代化産業遺産 めぐり	★前川道博 事業企画と実施	☆まちづくり協働課 以下の役割を想定 ・市民への広報 ・NPO・市民活動団体等 との連携の調整	講師料、バス チャーター代、ビ デオ収録経費、 ウェブ制作費
蚕都上田まちある き	★三田育雄 まちあるきコース策定 まちあるき実施	・まちづくり協働事業に 「蚕都上田」(資源と活 動)を活かしていくための 調査	講師料、ビデオ収 録経費、ウェブ制 作費
蚕都上田マップづ くり	★竹内充 マップの企画デザイン マップ情報のとりまと め・編集	☆文化振興課 ・遺産等の解説・案内 ・文化資源の情報提供	印刷費、ウェブ制 作費

平成21年度における本事業『蚕都上田お宝発見』は「蚕都上田のまちづくり」、とりわけ「蚕都上田」の啓発と市民協働の推進を目的として実施する。翌年度に向けては、本事業の進展を踏まえ、「商工・観光」の分野に発展させる事業展開を想定して実施する。

1 蚕都上田展（分散会場）



笠原工業 対象施設



1 蚕都上田展（展示会場構成）

区分	会場	展示内容	主たる運営者
第1会場	藤本蚕種歴史館 （仮称）	蚕種製造関係、市民のお宝 コーナー	蚕都上田プロジェクト
第2会場	笠原工業・常田館	雛のつるし飾り （笠原工業の繭倉等も見学 可能とする）	蚕都上田プロジェクト （信州上田雛の会）
第3会場	上田市立博物館	蚕糸業関係、蚕都上田関 係展示、横浜港開港関係 展示、市民のお宝のうちの 貴重品	上田市立博物館
第4会場	上田市立 丸子郷土博物館	旧丸子町関係展示、旧丸 子町・市民のお宝コーナー	丸子地域教育事務所 社会教育課
第5会場	シナノケンシ絹糸紡 績資料館	常設展示（ただし土日、祝 日は休館）	シナノケンシ
第6会場	信大繊維学部講堂 （予定）	信大繊維学部のお宝コー ナー（予定）	蚕都上田プロジェクト

展示品一覧は別紙参照

巡回バスの運行について

開催期間（10/3-11/3を予定）のうち、土曜日（4週）については、各会場を巡回して見学するため、上田市立博物館が上田市教育委員会のマイクロバス（25名）を確保する方向で調整する。

博物館の入場料金の割引策について

上田市立博物館、上田市立丸子郷土資料館の2館については、「蚕都上田展」の参加者への便宜を図るため、割安な共通チケットを発行することを検討する。

蚕都上田展・会場(1)

第1会場 藤本蚕種歴史館(仮称) 蚕種製造関係を展示



第2会場 笠原工業・常田館 雛のつるし飾りを展示



第2会場 笠原工業の近代化工業遺産



笠原工業(製糸工場跡)全景



木造5階建繭倉



鉄筋5階建倉庫



木造4階建繭倉



炊事場・風呂場等の施設

蚕都上田展・会場(2)

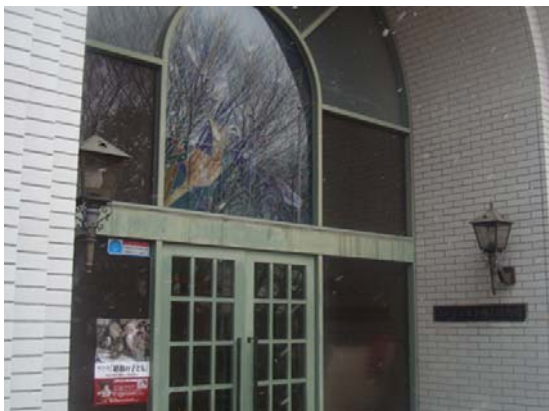
第3会場 上田市立博物館
蚕糸業・蚕都上田・横浜開港関係展示



第6会場 信大繊維学部講堂(予定)
信大繊維学部関係のお宝展示



第4会場 上田市立丸子郷土博物館 旧丸子町関係の展示



第5会場 シナノケンシ絹糸紡績資料館 常設展示



藤本蚕種歴史館(仮称)について

2009年10月3日開館予定

国内最大の蚕種製造の地として栄えた上田市上塩尻の、蚕種製造業者の総元締めが「藤本蚕業合名会社」(時期により名称は異なる、現在は藤本工業株式会社)である。同社に残る1万数千点の資料を上田小県近現代史研究会が調査・整理した。現在もなお資料館の整備を進めている。本事業『蚕都上田お宝発見』で提案する「蚕都上田展」の開催を機に、本資料館を「藤本蚕種歴史館」(仮称)として開館し、「蚕都上田」の中核施設の一つとして地域全体での活用を図るものとする。



「藤本蚕種歴史館」(仮称)の建物となる藤本工業(写真右の建物)、手前は駐車場



藤本工業の内部の様子(写真は信州上田夏季大学2008の時のもの)



蚕種製造の地・上塩尻は、住宅が密集しているが、藤本工業の敷地には広い駐車場があり、「蚕都上田展」の来場者にとっても利便性が高い。駐車スペースのない上塩尻地区全体へのアクセスにも利便性が高い。この機会に「蚕都上田」の中核施設としてのPRを行い、「蚕都上田」を啓発する。

2 近代化産業遺産めぐり (専門家による解説付き見学)



順	バスによる巡回	見学先
①	上田駅温泉口	(集合)
②	丸子郷土資料館	丸子郷土資料館見学
③	シナノケンシ	絹糸紡績資料館見学
④	カネタの煙突	カネタの煙突見学
⑤	しなの鉄道大屋駅	しなの鉄道大屋駅見学
⑥	笠原工業	笠原工業(常田館・繭倉等)→(徒歩)信大繊維学部講堂 →(徒歩)上田蚕種事務棟
⑦	上田蚕種	(集合)
⑧	上田城跡公園	上田市立博物館見学

3 蚕都上田まちあるき



コース No.	まちあるきコース名	想定する主な遺産等とその順番
No.1	中心市街地	上田駅お城口→笠原工業→信大繊維学部講堂→上田蚕種→有限会社藤本(上田つむぎ)→東上田駅跡→海野町→原町→柳町→上田城跡公園→飯島商店→上田駅
No.2	塩尻地区	しなの鉄道西上田駅→上塩尻元宿→五輪塔→水天宮→沓掛酒造→小岩井工房→蚕種製造民家→座摩神社→段々畑の桑園跡→秋和
No.3	丸子地区	しなの鉄道大屋駅→工業百年記念公園→鐘紡跡地→丸子市街→カネタの煙突→シナノケンシ→絹糸紡績資料館→腰越
No.4	真田地区	まちあるきコースは新規開発
No.5	塩田地区	まちあるきコースは新規開発
No.6	武石地区	まちあるきコースは新規開発

4 蚕都上田マップづくり

装丁

A4版カラー・観音開き8ページ

蚕都上田 マップ



マップの構成（案）

- 1 表紙(蚕都上田の歴史解説)
- 2 蚕都上田の遺産・解説
- 3~4 上田全図
 - ・蚕都上田まちあるきルート
 - ・近代化産業遺産マップ
 - ・蚕都遺産群・スポット群
- 5~6 上田市街地地図
 - ・蚕都上田まちあるきルート
 - ・近代化産業遺産マップ
 - ・蚕都遺産群・スポット群
- 7 塩田地図
- 8 丸子・武石・真田地図

「蚕都上田」を全ての上田市民へ届ける
「誇れる上田」の価値の発見を誘発

10万部を無料配布

上田市の全世帯(約6万世帯)
観光客など4万人分

マップ＋動画を ネット公開

全国に幅広く発信
「近代化産業遺産めぐり」
「蚕都上田まちあるき」を動画でネットへ

蚕都上田展 展示品 一覧 (案)

1 蚕糸業関係

(1) 蚕種関係 展示品	資料所在場所	状 況	点数	使 用 途
①蚕種製造工程表	新規作成	パネル	1	蚕種製造方法の例示
②『御印紙渡帳』	上田市立博物館	文書	1	村別輸出販売状況表を作成
③蚕卵紙の変化(平付→枠付→平付→バラ種)	上田市立博物館	文書	5	幕末に輸出された蚕卵紙とその後の蚕卵紙
④一代交雑種の見本	藤本工業株式会社	ケース入り	3	交雑種の種類例示
⑤塩水選器具	同上	実物	1	蚕種製造の純度を高める
⑥雌雄鑑別器	上田市立博物館	同上	1	一代交雑種製造と関連して使用された
⑦催青器	上田市立博物館	同上	2	孵化の際に利用した器具
⑧掃立箒	上田市立博物館	同上	1	孵化した毛蚕を蚕卵紙から桑の葉の上に掃き落とす
⑨乾湿計	上田市立博物館	同上	1	清水金左衛門考案のもの
⑩暖炉	上田市立博物館	同上	2	ブリキ製・鉄製
⑪カルトン	上田市立博物館	同上	2	木製・ボール紙製
⑫藤本蚕業関係文書	藤本工業株式会社	文書	5	蚕種製造販売例示
⑬雑誌『蚕都新報』	藤本工業株式会社	文書	2	蚕都上田の呼称の根拠史料
⑭バラ種容器	藤本工業株式会社	実物	1	例示
⑮写真資料	藤本工業株式会社	パネル	5	例示
⑯写真資料	上田蚕種株式会社	パネル	5	例示
⑰蚕種箱	田中栄二宅?	写真	1	
⑱顕微鏡	上田市立博物館	実物	1	微粒子病対策に使用された
⑲フォルマリン消毒器	上田市立博物館	実物	1	蚕室蚕具の消毒に用いた
⑳選繭器	上田市立博物館	実物	1	カイコノウジバエが入っている繭を選び出す器具
(2) 養蚕関係 展示品				
①桑摘み・手こき	上田市立博物館	実物	5	爪の代用品
②桑扱き	上田市立博物館	実物	2	桑扱き2種類
③包丁とまな板	上田市立博物館	実物	1 揃い	桑の葉を切る道具
④刈桑機	上田市立博物館	実物	2	桑の葉を切る道具
⑤ぼて	上田市立博物館	実物	2	桑の葉や繭を運ぶ籠
⑥給桑台	上田市立博物館	実物	1	蚕・桑の葉を載せる台
⑦蚕箸と入筒	上田市立博物館	実物	1	蚕を拾う箸とそれを入れる竹筒
⑧けぼとり器	上田市立博物館	実物	2	繭のけぼを取る器具
⑨養蚕神・養蚕絵巻	上田市立博物館	掛け軸	2	養蚕神・絵巻
⑩錦絵	上田市立博物館	写真	5	
⑪写真資料	上田市立博物館	写真	5	
(3) 製糸関係 展示品				
①笠原工業繭蔵と常田館	笠原工業	実物		この建物自体が製糸の展示品である。
②常田館所蔵公開の製糸関係展示品	笠原工業	実物		
③上田紬関係展示品	藤本・小岩井	実物		
④紬の道具	上田市立博物館	実物	1	真綿から糸を紡ぎ出す道具
⑤座繰り用万力	上田市立博物館	実物	1 揃い	玉繭から糸を巻き取るまでの一式
⑥デニール測定用具	上田市立博物館	実物	1 揃い	糸巻き取り器と重量測定ばかり
⑦糸より器	上田市立博物館	実物	1	紬糸を撚る器具
⑧座繰機	上田市立博物館	実物	2	座繰り用製糸機械

2 「蚕都上田」関係

展示品	資料所在場所	状 況	点数	使 途
(1) 土田杏村と上田自由大学	上田市立博物館			
①山越脩蔵、土田杏村との書簡	山越脩蔵	実物	2	
②『自由大学雑誌』	小平千文	実物	3	
③中沢鎌太「上田自由大学受講日誌」	小平千文	実物	2	
④馬場直次郎「自由大学受講ノート」	馬場慶一	実物	1	
⑤「上田自由大学会計簿」(第一期)	長野大学	実物	1	
⑥「自由大学会計簿」(再建期)	長野大学	実物	1	
⑦「自由大学雑誌購読者名簿」	長野大学	複製品	1	
⑧市民大学筆記	小平千文	実物	2	
(2) 山本鼎と児童自由画・農民美術				
①児童自由画	神川小学校	額入り	5	
②農民美術	農民美術組合		5	
(3) 交通網完成				
①上田交通関係	上田交通・長野計器	パネル	1	
②大屋駅記念碑	J R 大屋駅	写真・パース	2	
③北塩尻駅開通『塩尻時報』報道記事	西部公民館	実物	1	
(4) 洋風建物				
洋風建物の写真・パース	竹内秀夫	写真・パース	10	
(5) 『時報』関係				
旧村の『時報』、縮刷版	上田市立博物館	実物	5	
(6) 上水道関係				
上水道の完成	水道資料館	実物・写真	5	
(7) キリスト教関係				
①オルガン	上田教会	実物	1	
②名列簿	同上	複製品	1	
(8) 倉庫業の発達				
①上田倉庫・諏訪倉庫		(写真、公文書)		
(9) 蚕糸業関係出版物				
①蚕糸業関係図書	藤本工業		5	貴重な図書を展示
②蚕糸業関係雑誌	藤本工業		5	『生糸の国』『蚕都新報』など
(10) その他				
①音楽・映画・写真関係	馬場慶一	実物	5	ハーモニカ、演奏プログラム
②上田商工会関係	上田商工会議所			
③個人お宝コーナー	佐藤隆一	縄葛関係	3	今後増える予定

3 横浜開港関係コーナー

①横浜生糸改会社連名印鑑他4点	吉池昭雄	実物	5	
②吉池泰助文書	池内幸広	実物	3	
③外国人旅館(東京築地ホテル)図他2点	倉沢昭三郎	実物	3	
④金井十郎肖像(丸子初の器械製糸場創業者)	大森隆雄	実物	1	
⑤明治初期横浜の新聞他2点	斎藤兵治	実物	3	
⑥下村亀三郎渡米日記他8点	下村恵一	実物	9	
⑦ペリー一来航海岸警備文書他2点	飯沼区古文書書庫	実物	3	
⑧蚕卵原紙製造道具他2点	丸子北小学校	実物	3	
⑨依田社映画フィルム他6点	丸子郷土博物館	実物	7	
⑩信州全域上田丸子製糸商標他6点	横浜開港資料館	実物	7	

4 「雛のつるし飾り」

展示品	資料所在場所	状 況	点数	使 途
①つるし飾り	吊るし雛製作者		30	信州上田雛の会
②絹を使った押し絵	信州上田押絵の会		未定	信州上田押絵の会
③着物（時代を偲ぶのにふさわしいもの）	個人所蔵		未定	
④壺（時代を再現し上田独特なもの）	個人所蔵		未定	

『蚕都上田お宝発見』予算書

1 事業名 蚕都上田展(1ヶ月間開催)

科目	金額	摘要
印刷費	562,500	パンフレット5万部 232,500円 チラシ6万部 200,000円 キャプション制作費150点 30,000円 写真・絵画用パネル 50点 100,000円
賃借料	515,025	ガラスショーケース他レンタル 515,025円 (詳細は添付の見積書参照)
設営費	252,000	借用したものの運搬・設営・撤去費用
雛のつるし飾り	150,000	設営費(青竹、つるし飾り台リース30本、着物等) 40,000円 伝統工芸講師10,000円×4人 講習会(25日間、材料費・雑費) 30,000円 印刷費 40,000円(つるし飾りのいわれ 冊子作成)
小計	1,479,525	

2 事業名 近代化産業遺産めぐり 1回

科目	金額	摘要
謝金	170,000	近代化産業遺産講師 50,000円(交通費込)×1回 遺産めぐり講師 10,000円×4人 近代化産業遺産めぐりのビデオ収録 1回 ビデオ収録者(プロの方をお願いする予定)20,000円×1日 撮影アシスタント10,000円×1日 バスチャーター代(50人乗り、1日)50,000円
制作費	20,000	動画・ウェブコンテンツ編集・制作 2日×10,000円
小計	190,000	

3 事業名 蚕都上田まちあるき 6回

科目	金額	摘要
謝金	240,000	まちあるき講師 10,000円×6回×1人 蚕都上田まちあるきビデオ収録 6回 ビデオ収録者(プロの方をお願いする予定)20,000円×6日 撮影アシスタント10,000円×6日
制作費	120,000	動画・ウェブコンテンツ編集・制作 12日×10,000円
小計	360,000	

4 事業名 蚕都上田マップづくり

科目	金額	摘要
印刷費	1,500,000	A4 8P 観音折 コート紙73K 10万部(上田市全世帯6万部 観光等配布用4万部)
制作費	200,000	『蚕都上田お宝発見&マップ』ウェブサイト制作一式
小計	1,700,000	

全事業合計 3,729,525